

第 63 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 材料分科会 議事録

1. 日 時: 2012 年 2 月 16 日(木)13 時 30 分～16 時 15 分
2. 場 所: 日本機械学会 第 2 会議室
3. 出席者: 木村(NIMS)、尾崎(東電)、田村(パブ日立)、南(NKK シームレス鋼管)、伊藤(IHI)、北村(関電)、清水(MHI)、戸田(NIMS)、竹田(中電)
欠席者: 俣野(KHI)
代理者: なし
オブザーバ: なし
事務局: 海野(記)

4. 配付資料

- 63-1 . 第 62 回材料分科会議事録(案)
- 63-2 . 材料分科会委員名簿
- 63-3 . 第 58 回火力専門委員会議事録
- 63-4 . 第 13 回材料専門委員会議事録
- 63-5 . 第 59 回規格委員会議事録
- 63-6 . 火力専門委員会書面投票再投票結果報告
- 63-7 . 発電用設備規格委員会書面投票再投票結果報告
- 63-8 . 規格委員会書面投票への意見対応について
- 63-9 . JESC説明資料案

5. 議 事

(1) 前回議事録確認

[資料 63-1]

前回議事録(案)について確認を行なった結果、特に指摘事項はなく議事録案は承認された。

(2) 分科会委員の承認

[資料 63-2]

木村委員、田村委員の再任意向が報告され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会への推薦が承認された。また、主査候補として出席委員の互選により、木村主査が再任され、次回火力専門委員会に承認依頼することとなった。なお、木村主査から主査再任にあたり三役の強化を目的として、次回改訂作業に入る際に現在空位となっている副主査を選任する方針が示され、各委員への協力要請がなされた。

(3) 火力専門委員会・規格委員会他報告

(3-1) 火力専門委員会

[資料 63-3]

第 58 回火力専門委員会の審議内容のうち、材料分科会に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 材料分科会委員の承認(新任・再任・退任なし)
- ・ 第 62 回材料分科会報告

- ・ 専門委員会運営規約の改訂に関する書面投票結果
- ・ 規格委員会書面投票結果報告及び意見対応案
- ・ 発電用火力設備規格改訂作業の是正処置について

(3-2) 材料専門委員会報告

[資料 63-4]

第 13 回材料専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ Tracking List により検討課題を確認した
- ・ 専門委員会運営規約改訂の書面投票意見対応の審議を実施
- ・ 高温での Su 値(引張強さ)を求める際に 1.1 の係数を使用する理由について審議を実施
- ・ PG-20: 高強度フェライト鋼の冷間加工の取り込みについて Grades 91&92 に関して材料が使用される温度と冷間加工の換算歪量に応じて冷間加工のまま使用して良いのか、熱処理が必要なのが規定されている。火力専門委員会から材料専門委員会にこの規格の取り込みの妥当性が検討依頼されている。担当委員から取り込みについて妥当であると報告された。(議事録未作成の) 第14回材料専門委員会で Grade92 については PG-20 から削除され Grade23 と同様にコードケースに冷間加工歪条件が入るだろうとの情報提供があった。
- ・ 原子力専門委員会における審議効率化を目指し、材料に関する部分について切り離し、火力・原子力統一の規格を作ることも念頭において発電用設備規格委員会全体の体制そのものを見直す必要があるのではないかという提案が規格委員会幹事会で出ていることについて報告があった。

(3-3) 規格委員会報告

[資料 63-5]

第 59 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 火力設備規格案の書面投票結果に関する審議
- ・ No.177(基本規定案): 2次投票可決及び編集上の修正承認
- ・ No.178(詳細規定案構造分科会関連): 2次投票可決及び編集上の修正承認
- ・ No.179(詳細規定案溶接分科会関連): 2次投票可決及び編集上の修正承認
- ・ 詳細規定案材料分科会関連は、火力専門委員会書面投票再投票可決後、規格委員会書面投票再投票に進むことを承認

(3-4) 火力専門委員会書面投票(再投票)結果報告

[資料 61-6]

詳細規定案材料分科会関連の火力専門委員会書面投票再投票結果について報告した。

<投票対象>

- ・ No.59 詳細規定案材料分科会関連

<各書面投票共通>

投票期間: 12 月 6 日(火)～12 月 20 日(火)

投票結果:可決(委員数5分の4以上の投票数により投票成立, 投票数3分の2以上の賛成
票数, 意見付反対票無しにより可決)

投票内訳:委員数 21 名

賛成 19 票

反対 0 票

保留 0 票

不投票 2 票

投票意見:反対・保留・参考意見とも無し

(3-5) 規格委員会書面投票(再投票)結果報告

[資料 61-7]

火力専門委員会における書面投票再投票可決を受け, 発電用設備規格委員会での書面
投票再投票を実施し, その結果を報告した。

<投票対象>

- ・ No.187 詳細規定案材料分科会関連

<各書面投票共通>

投票期間:1 月 13 日(金)~1 月 27 日(金)

投票結果:委員数の5分の4以上の投票により投票成立し, 投票数の3分の2以上の賛成
票があったが意見付反対票があるため, 提案者にて意見対応を実施する

投票内訳:委員数 31 名

賛成 27 票

反対 1 票

保留 1 票(反対票委員より保留意見の付記有り)

不投票 2 票

投票意見:反対・保留意見有り(分科会資料に添付)

(4) 審議事項

(4-1) 規格委員会書面投票への対応方針について

[資料 63-8]

規格委員会書面投票(再投票)への対応案について審議を行った。

a. 反対意見への意見対応

吉田委員

(a) 吉田委員の反対意見の主旨が技術的なポイントなのか規格の論理的なポイントなのかを確認
することとする。

b. 保留意見への意見対応

(a) 引張応力・引張強さの単位を MPa に統一して修正する。本件は, 他の原稿部分にも該当修
正箇所がないか各担当委員が再確認する。

(b) UCS-23 に記載の相当 JIS 材についても使えるということ, UCS-23 に載っていない場合でも
UHX では使えるということを反映して対応案を修正する。

(c) 指摘の通り修正する。

(d) 対応案は案2を採用とする。

(e) 原案通りとする。

(f)備考に該当する材料が UG-84 の対象外であることを明記する。UHA 取り込みに関する記載を追記する。

(g)(a)と同じ。

(h)意見にて指摘された通りの解釈で良い。

(i)対応案を「より分かり易い表記内容についてはその他の許容応力表も含めて、次回改訂時において検討させていただきたいと存じます。」に修正する。

(j)指摘の通り修正する。

(4-2)JESC説明資料案について

[資料 63-8]

規格委員会にて承認後、JESC 審議が 4 月(技術委員会)、5 月(本委員会)の予定であることが事務局から報告された。現在の JESC 説明資料案について確認し、材料分科会分は修正の必要がないことが確認された。

(4-3)パブコメ募集用見え消し版原稿について

[資料なし]

規格委員会にて承認後、3 月下旬を目途にパブコメ募集をかける予定であることが事務局から報告され、他の分科会分とあわせ見え消し版原稿を閲覧用資料として作成すること、その作成方針としてレビュー票を元に作成することが了承された。また、備考の見え消し版については、HP に掲載されている改訂内容(添付 2)をクリア版原稿とセットとすることで了承された。なお、見え消し版原稿を事務局にて作成後、3 月 16 日を期限として担当委員にて確認することとなった。

6. 次回開催予定

日 時:2012 年 5 月 8 日(火)13:30~17:00

場 所:日本機械学会 第 2 会議室

以 上